

## 創造的自己改革の着実な実践

J Aグループは、2015年より「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を目標とする「創造的自己改革」の実践に総力を挙げて取り組んできました。

これまでに全国のJ A・連合会において、組合員との徹底した話し合いを通じて、創意工夫ある取り組みを実践し、多くの実績・成果が積み上がっています。

今後ともJ Aグループは「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、「持続可能な農業」と「豊かでくらしやすい地域社会」の実現を目指し、不断の自己改革に取り組んでまいります。

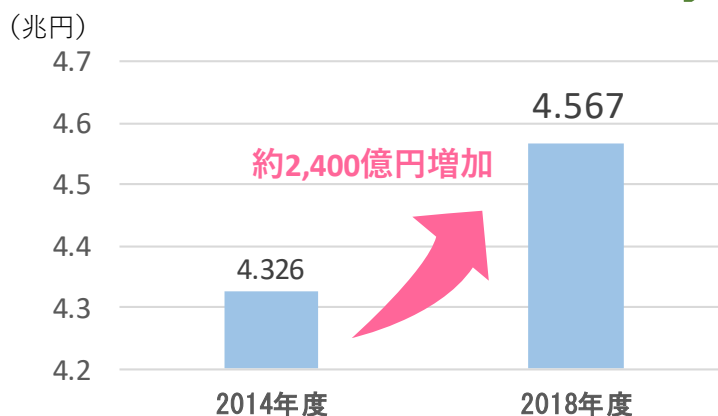
### 自己改革の取り組み状況

	2016年度	2019年度
農業の担い手のニーズに応じた個別対応	69.7%	74.5%
マーケットインに基づく生産・販売事業方式への転換	46.9%	66.3%
付加価値の増大と新たな需要開拓への挑戦	60.2%	74.5%
生産価格の引き下げと低コスト生産技術の確立・普及	81.2%	92.1%
新たな担い手の育成や担い手のレベルアップ対策	72.5%	80.6%
営農・経済事業への経営資源のシフト	33.5%	55.2%

※各施策に取り組んでいるJAの割合



### J Aグループ販売品取扱高の拡大



自己改革の取り組み状況としては、重点的に取り組むこととした6項目、全ての項目において取り組むJAの割合が増加

共通目標とした「販売品取扱高の拡大」は、2018年時点で、約2,400億円の増加

各地域の創意工夫ある取り組みによる、生産拡大や販売拡大、コスト低減の成果として、「農業者の所得増大」が実現しています。

